

陵南区婦人会 『友愛訪問会食会』に参加された 皆さんは美味しい料理に笑顔が一杯!

3月3日(日)、コミュニティハウスにおいて、学区婦人会主催の「友愛訪問会食会」が開催されました。森安会長の挨拶から始まり、来賓、町内会長の紹介のあと演奏に入りました。荻田副会長の司会で演奏者より「詩吟」「どじょうすくい」「フラダンス」が披露されました。

続いて、来賓の歌で会は更に盛り上がりました。しばらく休憩をはさみ、



演芸を鑑賞する参加者

見事な詩吟でした



料理を作る婦人会の皆さん

笑いと拍手のどじょうすくい



華麗な踊りのフラダンス

会食会では毎年好評の婦人会の皆さん手作りのちらし寿司と水ようかんを美味しくいただきました。また、ロビーなどには雑

かざり、地域の方や婦人会員手作りの作品が展示されました。なお、前日には欠席者の方にもバラ寿司を配り、喜んで頂きました。



ちらし寿司の味は格別でした
花尻からの参加した皆さん



玄関に飾られたお雛(写真上)と
精密なトンボなどの竹細工(写真)



防犯パトロールに16人が参加しました

3月16日(日)、みどり町役員と育成会役員16人が参加して行いました。出発前に班を2つに分け、

防犯パトロール出発前に班編成について打合せを行う

3月16日(日)、みどり町役員と育成会役員16人が参加して行いました。出発前に班を2つに分け、防犯パトロールに出発しました。巡回中に、不審な人物や不審な車等を中心に見て回りましたが、別に異常はありませんでした。参加された皆さん、ご苦労さまでした。

なお、4月の防犯パトロールは、第3週の土曜日、4月20日、担当は本町とあかね町です。新役員の方のご参加をお願いします。

先日、東花尻で不審者が発見され、パトカーが出動するなど、大変でした。不審な人物や車を見られたら、西警察署に連絡をお願いします。



第10回岡山市消防団西部地区練法訓練大会が開催される



3月10日(日)、撫川グラウンドにおいて、第10回岡山市消防団西部地区練法訓練大会が開催され、自動車のポンプの部7分団、小型ポンプの部13分団が参加されました。

雨模様であり、開会式は整列なしで行われました。開会式終了後直ちに競技に入り、白石団は小型ポンプの部の最後に出場し、6番目に出場しました。結果は練習の成果を発揮し、昨年より大きく順位を上げました。

この後、閉会式が行われ、操作大会は終了しました。出場された白石分団の皆さん、お疲れ様でした。来年はさらなる上位進出を目指して頑張ってください。



競技には4人一組で参加しました

花尻町内新聞

防災訓練に200人が参加!

夜明けまで降っていた雨もやんだ3月16日(日)、10時より花尻ききょう公園にて三町内会より約200人が参加し、防災訓練が行われました。

開会式に続いて、参加者を3班に分け早速訓練に入り、煙道体験や環境

学習のさんよう号では、自転車での発電や太陽光でお湯を沸かしたりしました。その後、炊き出しを参加者全員で食べ全ての日程が終了しました。防災訓練にご協力いただいた各団体の方々に感謝申し上げます。



⑦

発行責任者 普門茂之
集責任者 楠木忠司

一部 50円
年間 500円
送料 100円
年間 1,000円



①開会式
②消防署の蘇生機
③消防署の蘇生機
④竹担架
⑤AED
⑥水消火器
⑦環境学習センターの皆さん

※開会式には右より東山消防局長、逢沢一郎衆議院議員、高原俊彦県議員、則武宣弘市議員、後で太田栄司市議員のご出席がありました。

花尻少年消防クラブ入退団式を行う

3月16日(日)、午前9時より町内集会所において、花尻少年消防クラブの入退団式が行われました。

式は西消防署の文谷係長の司会で始まり、まず、普門町内会長の挨拶がありました。続いて文谷係長より子ども達も判りやすく火災についてのお話がありました。次に、退団する6年生に記念品が、

出席者一人ひとりに手渡されました。

続いて、入団する4年生一人ひとりに手帳とバッジ等が授与されました。

次に、消防クラブを代表して5年生の佐々木結子さんが、「誓いの言葉」を力強く述べました。

約20分程で入退団式は滞りなく終わりました。新入団員の皆さん、こ



⑧ 婦人部の炊き出し、⑨ 育成会の豚汁、⑩ 消防による煙道体験、⑪ 看護師さんによる応急手当訓練、⑫ 給水車の水は好評でした、⑬ 白石分団による土のう作り訓練

少年消防クラブの入退団式で話す西消防署の文谷さん

れから、いろいろと防火について学習して下さい。

花尻町内会ホームページ http://townweb.e-okayamacity.jp/hanajiri/

吉備中学校では280名が卒業

吉備中学校の卒業式は、3月13日(水)、午前10時より開催されました。

卒業式生が着席した後、開式の辞、国歌斉唱に続き、卒業証書授与式に移り、卒業生一人ひとりに担任の先生より卒業証書が手渡されました。

続いて、山田浩司校長先生より「三つお話しをします。一つ目は「支え」、出合いに、すべての人にすべてのことに、感謝の気持ちをいつも忘れないうことです。皆さんが今日あるのは、一人ひとりの努力は勿論のことですが、ご家族の皆様をはじめ、先輩や友達など多くの方々の温かい支えと励ましのお陰であると



担任の先生より卒業証書が渡されました

いうことです。そのことに感謝する素直な気持ちをいつも忘れないでください。これからは、少しずつ独り立ちしてよいよ大人社会への仲間入りにつき進んでいきます。困難な壁にぶつかった時には、皆さんを取り巻く多くの人の支えや励ましを思い出して、頑張り抜いてほしいと思います

二つ目は「どんな時も常に前向きな考え方、姿勢で立ち向かっていく」ということです。これから人生、楽しいことばかりではなく、辛いことや苦しいこともたくさんあります。でもどんな時にも、決して最後の最後まで諦めず、へこたれず

「これ乗り越えることで自分もまた一つ成長できる」「この経験が自分の力になる」「転んでも

ただでは起きないぞ」といつも物事を前向きにとらえ、何事にも目標を持って立ち向かっていく人になってほしいと思います。三つ目は「二期一会、出合いを大切に。一瞬一瞬を大切に精一杯生きる」ということです。だからこそ、自分中心ではなく、周りの人への思いやりを忘れず、出合いやつながりを大切に、そして

「今、自分にとって何が大切なのか、今、自分は何をしなければいけないのか」をいつもしっかりと考え、前を向いて、精一杯生きてほしいと思います。」(要約)と式辞が述べられました。



式辞を述べる山田浩司校長先生

次に在校生を代表して、波多桜子さんより「先輩方は、これからそれぞれが新しい道へと歩んでいかれます。途中、様々な壁にぶつかるかもしれませんが、諦めたくなることもあると思います。そんな

たでは起きないぞ」といつも物事を前向きにとらえ、何事にも目標を持って立ち向かっていく人になってほしいと思います。三つ目は「二期一会、出合いを大切に。一瞬一瞬を大切に精一杯生きる」ということです。だからこそ、自分中心ではなく、周りの人への思いやりを忘れず、出合いやつながりを大切に、そして



送辞を述べる波多 桜子さん

な時は、自分の決めた道を信じ、仲間と共に大きな壁を乗り越えてきた、この三年間を思い出してください。心に強い気持ちがあれば、越えられないような高い壁も、いつか必ず越えられる日が来ると信じています。そして、歩む道は違っても、三年間共に歩んできた仲間や先輩方を応援している、

陵南幼稚園では45名の園児が卒業

陵南幼稚園の卒業式は晴天に恵まれた3月14日(木)に行われました。

午前10時には園児が先生に付き添われて入場し、卒業式が始まりました。



園長先生から卒園する園児一人ひとりに卒業証書が渡されました

開会のことば、君が代斉唱に始まり、武田直美園長先生より卒園する園児一人ひとりに卒業証書が渡されその都度、「おめでとう」に園児達は「ありがとう、さようば」と元気に答えていました。

続いて、園長先生や来賓のお祝いのことばがありました。次に、年少・年長園児のお別れの歌とことばがあり、園歌を歌って卒園式は終わりました。

私達がいることを忘れないうこと。」「(要約)との送辞が述べられました。続いて、卒業生を代表して、梶原一紗君より「家族の支えがあったからこそ今の私がいると思います。受験で不安だったときに励ましの言葉を掛けてくれて前向きな気持ちになりました。さう



答辞を述べる梶原 一紗君

げない優しさに心が和んだ瞬間がありました。まだまだ困らせることがあるかと思いますが、私たちの成長を見守っていて下さい。新しい生活に不安はありませんが、自分の道を一步一步着実に歩んでいきたいと思っています。」(要約)との答辞が述べられました。

花尻町内会ホームページ

http://townweb.e-okayamacity.jp/hanajiri/



アーチをくぐり園を後にする園児

陵南小学校からは145名が卒業

陵南小学校の第38回卒業式は、あいにくの雨の模様の中、3月19日(火)、午前10時より厳粛に行われました。

卒業生が入場した後、開会のことば、国歌斉唱と続いた後、卒業証書授与に移り、一人ひとりの名前が呼ばれ、大きな声で「ハイ」と返事をし、大森雅信校長先生より145名の卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

続いて、大森校長先生より「卒業生の皆さん、あなた自身が持つ、自分に打ち克つ力を信じて思う存分、多くのことに挑んでください。くじけることもあるかもしれませんが、そんな時は休んでも構わないのです。次への充電になるからです。そしてまた、あらためて

一歩でも前に歩みを進めれば、目標とするゴールは必ず近づいてきます。人の言



はなむけの言葉を述べる大森校長先生

葉や態度に傷つくことがあったとしても、全てを諦めてしまうのではなく、自分のペースで歩み続けて下さい。その時、あなたは一人ではありませんが、あなたのために大勢のサポーターがついています。友達、先生、家族、地域の方々、多くの方の応援をエネルギー



素晴らしかった卒業生・在校生の別れの言葉と歌

に変わって、大森校長先生より「卒業生の皆さん、あなた自身が持つ、自分に打ち克つ力を信じて思う存分、多くのことに挑んでください。くじけることもあるかもしれませんが、そんな時は休んでも構わないのです。次への充電になるからです。そしてまた、あらためて

一歩でも前に歩みを進めれば、目標とするゴールは必ず近づいてきます。人の言



卒業証書を手渡される卒業生

教職員一同、心よりお祝い申し上げます。小学校六年間の歳月を通して、お子様はいろいろな経験をしながら自分なりに答えを見つけてながら立派に成長されたと思います。これもひとえに、本校の教育に期待し協力をしてくださった賜物と思っております。どうか胸を張って巣立つお子様をこれからも支え励ましていきましょ

次に、佐藤慎一郎PTA会長よりお祝いの言葉が言われます。続いて、「卒業生・在校生別れの言葉」卒業生からは6年間の思い出と感謝の気持ち大きな声で話され、



歌と踊りを披露する卒会生の幼児達

3月11日(月)、陵南コミュニティハウスでつぼみ会の卒会がありました。卒会生の皆さんは、自分たちでお面を作ったり、踊りの練習をして今日の日を迎えることができました。開式のことばの後、卒会

生18名がみんな揃って入場し、「エビカニクスの踊りを披露しました。楽しそうに踊る卒会生の姿にママたちも思わず笑顔になりました。その後、一列に並び、卒業証書を順番に受け取ると、みんな元気に「ありがとう！」と答えていました。続いて、今年もゲストとして歌のお兄さんに来てもらい、歌に合わせて子ども達も体を動かしたりして和気藹々とした時間が過ごせました。最後に新年度役員5名を会員さんに紹介した後、閉会のことばで卒会は終わりました。



卒会幼児と歌兄さんと集合写真



少し緊張気味の卒業生